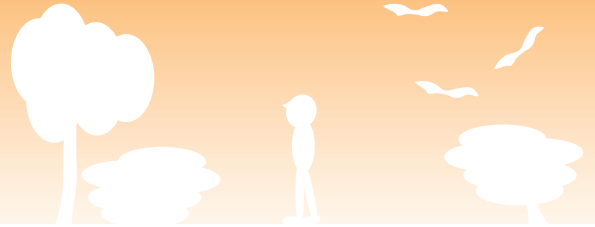


2013年10月 地域自然情報研究会



道路生態学のすすめ ～道路と野生動物における問題と解決策～

園田 陽一 氏 (株式会社 地域環境計画)

道路生態学という用語は、Landscape ecology の大家である R.T.T Forman らが 2003 年に出版した「Road ecology」で初めて用いられた。それまでは、道路が野生動物に与える影響について警笛を鳴らした学術書、論文等は少なからず見られたが、その多くが現象のパターンを記載するに過ぎなかった。Forman らは、Landscape ecology の原理に基づいて、学問としての体系化を図った。Forman らの Road ecology 出版以降、世界的に学術論文数は増加傾向にあるが、国内にみられる学術論文数は極めて少ない。しかし、我が国では、古くは日本道路公団（現 NEXCO）、国土交通省によってリードされ、エコロードの開発が推進されてきた。これらの事例をレビューし、我が国における道路と野生動物の関係学のあり方を考えてみたい。

開催日時

2013年10月20日(日) 14:00～16:00

参加費

500円(ただし、GCN会員は無料)

お申し込み・お問い合わせ

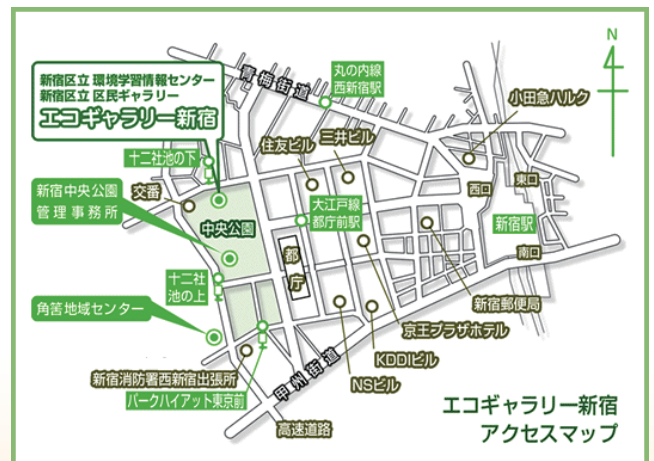
お名前、ご所属、ご連絡先メールアドレスをご記入の上、下記までご連絡下さい。

mail: gcnken@gmail.com

NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局
(担当: 井本・梶並)

会場案内

新宿区環境情報学習センター 2F 研修室
(エコギャラリー新宿)



地域自然情報研究会とは?

当NPOにて2006年から、概ね月1回のペースで開催している研究会で、地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究、GIS情報整備や公開にかかわることなど、幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から、新たな発想が生まれる場とするために、分野に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では、皆様の話題提供も、随時、受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。



NPO法人
地域自然情報ネットワーク
The Geoeological Conservation Network

NPO法人地域自然情報ネットワーク (GCN) は
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します

なお、GCNにつきましては、当会ホームページをご覧ください。
<http://www.geo-eco.net/index.html>